

京都・国際音楽学生フェスティバル 2019

2019年5月25日～29日

京都府立府民ホール アルティ（京都）

主催 公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション / 後援 ローム株式会社



京都で開催された「京都・国際音楽学生フェスティバル 2019」で、最終日の5月29日に本学の大学院生4名が出演し、ハイドン「弦楽四重奏曲第67番ニ長調〈ひばり〉」を披露しました。

当フェスティバルは「音楽」を通じた国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校の学生を招いて行われるもので、今年は日本、オーストリア、チェコ、フランス、ドイツ、イタリア、ノルウェー、ロシア、スペイン、アメリカの10カ国から103名の学生が集い、国際色豊かな演奏を披露。今年の日本代表校は東京音楽大学が務めました。

フェスティバル期間の前半は各学校の演奏、後半は音楽祭に参加している他校の学生同士で合奏が行われ、最終日にはほぼ全学生による合同オーケストラの演奏会が行われます。

各国の若き才能が集い共演する夢の舞台。今後世界で活躍する音楽家たちが、ここから大勢羽ばたいていくことでしょう。

(広報課)



▲外国の音楽学校の学生との交流は、貴重な体験となります。

出演

Vn.福田 麻子・三宅 音菜 / Va.中川 理子 / Vc.山崎 太陽